

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」刈谷校			
○保護者評価実施期間	2025年11月1日 ～ 2025年12月20日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	64人	(回答者数)	52人
○従業者評価実施期間	2025年11月1日 ～ 2025年11月30日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8人	(回答者数)	8人
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月5日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にを行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されているところ。	必ず支援が終わった後には保護者様とのフィードバックの時間を設けるようにしており、保護者様のご都合で時間がない場合には書面にて内容を報告するようにしている。その上で、保護者様から何かご意見やご要望があればその内容に沿ったプログラムを再度構築し、お子様の状況を鑑みながら支援プログラムを調整している。	今回の支援がどのような目的で行ったのかを保護者様が納得していただけるように説明を続けていきたい。例えばお子様のコンディションが悪い中でいつもと違う対応をした場合にはなぜそのような対応を行ったのかを根拠に基づいて説明出来るようにしていきたい。
2	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明をしているところ。	契約の際に保護者様に理解しやすいように難しい言葉は使わず身近な例でイメージしやすいように説明をしている。またこちらから一方的に説明をするのではなく、分からない部分や疑問に思う部分は適宜質問をすることを伝え、保護者様にとって不安のないように工夫をしている。	今後も左記の内容で心がけていきたい。特に利用者負担に関しては非常に重要な内容であるため何か日々があった場合には速やかに対応し、保護者様に納得していただけるように心がけていきたい。
3	利用者様が通所を楽しみにしているということ。	本人にとって苦手なことばかりにフォーカスを当てるのではなく得意な所に注目をして信頼関係を図るようにしている。十分な信頼関係がつかめた後に、どのような順番でプログラムを進めるとやる気が出るのかも考えながら支援を行っています。	見学に来る保護者様の中には「苦手なことをすぐに出来るようにしたい」と焦る保護者様もいる。しかし最初から苦手なことだけに焦点を当てるとお子様の自己肯定感が下がってしまうということを伝え、お子様に対する見る視点を変えようということも重要であると考えている。そうすることで利用者様も保護者様も考え方に変化が出るのではないかなと思っている。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	バリアフリーの問題について（特に階段部分に不安を感じる部分がある）	小学校低学年の利用者様の場合、階段を上る際にかなり時間がかかってしまい転倒をするリスクも考えられるので注意が必要。また段差が大きいため手すりにも手が届かないというケースがある。	基本的に小学校低学年のお子様は階段の昇降の際に大きなリスクを伴う場合がある。そのため基本的には1階で行い負担を減らせるようにしていきたい。また止むを得ずに階段を使う場合には上るときにはお子様を前、スタッフが後ろに、降りるときは反対にスタッフが前、お子様が後ろというように大きな事故に繋がらないように配慮していきたい。
2	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	実際交流する機会が少ない現状がある。また他のサービスの予定を合わせたり、地域住民のご協力がないと実際開催は難しい部分もある。	他のきらりの校舎で連携を行っている部分があればどのように行っているのか、また地域住民のご理解を得るにはどのようなアプローチを行っているのかを再度検討しながら進めていきたいと思っている。ただし現状のままで何も問題はないという意見も上がっているため、慎重に検討をしていきたいと考えている。
3	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がなく、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられていない。	実際開催をする機会もなかなかなく、開催しても日頃からお会いしていないと参加者も少ないと考えているため、なかなか開催することが難しいことが考えられる。	まずは同じきらりで父母の会を行っているところでもどのように行っているのかを参考にし、内容をもとに保護者様に周知を行い必要に応じて開催をしたいと考えている。ただし保護者様の意見の中には「行わなくても良い」という意見もあるため慎重に検討をしたい。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こどもサポート教室「きらり」刈谷校

公表日 2026 年 2 月 14 日

利用児童数

64人

回収数

52人

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	52	0	0	0		お子様が支援をする際には療育のスペースを確保した個別の教室で行い、落ち着いて出来るようにしています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	51	1	0	0	・1対1で接してくれているので良いと思っている。 ・適切であるがもう少し枠を増やしたいので、先生が増えて利用できる曜日が増えるといい。	ご意見ありがとうございます。職員の確保につきましては上層部に相談の上、対応出来るように努めて参ります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	40	10	0	2	・子どもも理解しており、余計なものが見えないように配慮されているが、バリアフリー化はされていないように感じる。 ・足が悪い子や小さな子は大変かも…(階段や階段)	お子様はじめ保護者様にはご迷惑をおかけして申し訳ありません。階段や段差に関しては滑り止めの設置や上り下りの際にスタッフを必ず1名以上配置するなどの工夫を行っています。また小さなお子様や手足が不自由なお子様に関しては優先的に1階の1番の教室を使用しています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	52	0	0	0	・清潔で気持ちよく過ごせる環境だと思う。環境に合っていると思う。	ありがとうございます。療育を行う前に一度掃除の作業を行い、清潔な環境の中で支援が受けられるように努めています。
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	51	1	0	0	・出来ている人と出来ていない人がいるように思える。	ご意見ありがとうございます。ご迷惑をおかけしてしまい申し訳ございません。再度複数のスタッフで対応を行い支援プログラムや対応方法は適切かという確認を行っています。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	50	1	0	1		支援プログラムに関してはHPに公表をしているだけにとどめるだけでなく、どのような目的で支援を行っているのかも合わせてフィードバックの際に伝えていきます。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	52	0	0	0	・よく見てくれている。何が必要なのかを的確にとらえている。 ・丁寧に説明してくれている。	ありがとうございます。計画に関しては保護者様に渡す前に必ず担当支援員にもチェックを行ってもらい、的確なものになっているか等を確認できるように努めています。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	49	2	0	1		お子様が成長するための内容を計画に掲載するだけではなく、保護者様へのアプローチの方法や関係機関との連携なども記載させていただいております。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	51	1	0	0	・計画に沿った支援が行われていると共に子どもがつまづいてうまく出来なかった時はレベルを下げたり、臨機応変に対応してくれている。	ありがとうございます。お子様の様子に関しは必ずフィードバックの時間などにその時の様子を連絡にお伝えし、状況に応じてプログラムの内容も変更させていただいております。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	51	1	0	0	・その場で工夫をしていると思う（タブレットやプリント） ・日常生活で使うであろうシチュエーションの算数を取り入れてくれて楽しそうです。	ありがとうございます。個別支援計画の内容からはそれないよう心がけながらお子様のコンディション等によって内容の方を変えさせていただいております。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	10	3	21	18	・現状ないが特に求めていない。今のままでいいと思っている。	ご意見ありがとうございます。ご希望がありましたら、きらりに通っているお子様同士で小集団の活動から始められるように努めてまいります。
保護者 への 説明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	52	0	0	0		契約の際に説明を行っています。保護者様に伝わるように専門用語をなるべく用いず分かりやすい言葉で説明するように努めています。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	47	4	0	1		契約時に重要事項説明書等を示しながら支援の内容を説明しています。一部どちらともいえないの結果もありましたので、より一層丁寧に説明するように致します。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	46	1	4	1	・参加したことがないです。 ・昔お話があった気もしますが、参加したことがなく、今では分からないです。	今年から保護者様に対してのお悩みを聞く場やペアレント・トレーニングの場を積極的に設けていますので、お時間がございましたらぜひご参加下さい。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	50	1	0	1	・いつもお話する時間があるのでありがたいです。 ・親になって話を聞いてくれます。 ・やってくれる方とそうでない方がいます。 ・利用した日の支援記録を毎週作成していただき、子どもの様子や気持ちがとても分かりやすく記載されています。利用後読むのが楽しみです。	ご意見ありがとうございます。一部の保護者様には不快な思いをさせまいと申し訳ございません。再度フィードバックの方法や伝え方等の指導を徹底してまいります。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	45	4	2	1	・面談は特になが、質問をするとき必ず答えてくれている。 ・毎回話す時間があるので定期的という難しいです。	ご意見ありがとうございます。フィードバックの時間は必ず設けさせていただいていますが時間が短い場合は相談をもう少ししたい場合は、事業所内相談を設けていますので、ご利用いただければと思います。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	52	0	0	0	・共感的に支援されている。子どもの性格に合わせて褒めすぎたりするのではなく、見守ってくれているのもありがたいです。	ありがとうございます。お子様の特性に合わせて支援プログラムは調整をさせていただいており、その時の状況によってもプログラムの内容は変更させていただいております。

保護者への説明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	6	32	11	・「いいえ」の意見として…現状ないが特に求めている。今のままで良いと思っている。 ・参加したことがないです。	ご意見ありがとうございます。まずは地域に認めてもらえるような事業所になるように努めている最中でございます。必要に応じて父母の会の方も検討していきます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	48	1	1	2	・飛び出しが一時期ありましたが、丁寧に対応してくれました。	ご意見ありがとうございます。仮に何かありました時はこちらから保護者様が納得していただくまで丁寧に説明をしています。意見にはありませんでしたが「いいえ」と回答している方もいますので、迅速かつ丁寧に対応するように努めさせていただきます。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	50	0	1	0		(未回答1件あり) 皆さんありがとうございます。これからも丁寧な対応を心がけていきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	32	11	0	9	・自己評価の結果などホームページできちんと発信されている。	ご意見ありがとうございます。ただし何名かの保護者様が自己評価の掲載場所がどこか分からないとのご意見を頂きましたので、掲示場所の確認及びHPで見られることを伝えていきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	51	0	0	1		個人情報のファイルであったり（個人情報を書かれているものも含む）、職員同士の会話であっても特定の利用者と断定できるような発言は控えていますので、よろしくお願いいたします。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	41	6	1	2	・説明されている。入口横に各対応のマニュアルがあるのだからやすい。	ご意見ありがとうございます。以前からどこにあるか分からないというご意見を頂きましたので、玄関近くに設置をさせていただきました。しかしまだ分からないという方もいらっしゃいますので、再度周知徹底をしていきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	37	8	1	6	・特性のある子供にも伝わるように分かりやすく避難訓練をしてもらい、丁寧にフィードバックをしてくれたので親としても安心した。	ありがとうございます。実際避難訓練に参加できなかったお子様に対してはどのようなことをやったのかを議事録で閲覧できるようにしていますので、ぜひご覧いただければと思います。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	47	0	0	5		刈谷校の安全計画に基づき、お客様の安全確保に努めていただいております。他にきになる部分があればお気軽にお申し出下さい。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	42	5	0	5		2名ほど事故やケガが起きたことがないので分からないという意見がありました。重要事項説明の際に事故などの対応について説明しています。一方で分からないという意見もありましたので、刈谷校の各種マニュアルの所に配布をさせていただいております。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	52	0	0	0	・きらりの活動は安心感を持ってのびのびと行えている。 ・ずっとと見てもらえる心落ち着ける場所です。 ・先生が固定なので安心していると思います。	皆さんご意見ありがとうございます。これからも安心できる事業所になるようにスタッフ一同努めてまいります。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	51	1	0	0	・一番大好きな放デイです。 ・きらりさんはいい意味で子どもの息抜き場になっている様子です。親子共にとてもありがたい存在です。いつもありがとうございます。 ・とても楽しんで通っています。 ・何事もやる気にさせてくれる声掛けがとても上手です。励まして伸ばして下さりありがとうございます。 ・本人が行きたいと言っているので、こどもの個性を活かし成長していると感じています。高学年になり時間を伸ばしてくれるとありがたいです。	嬉しいご意見ありがとうございます。今後とも保護者様・お子様が安心できる環境を提供していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	50	1	0	0	・その時その時の子どもの精神状態をよく見てくれていて、その上で計画に沿った取り組みをしてくれている。相談にも快く聞いてくれるので満足している。 ・とても感謝しています。 ・クラスの友達との距離感の遠いから小さなトラブルが増えてきた。孤立しないためにもコミュニケーションの支援を今後お願いしたい。	(未回答1件あり) 嬉しいご意見ありがとうございます。支援のプログラムに関してはフィードバックの時間にお申し出いただければ調整をさせていただきますので、刈谷校のスタッフにお申し出下さい。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもサポート教室「きらり」刈谷校				公表日		2026 年 2 月 14 日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		法令遵守をしたスペースを確保している。	基本的に利用者様が集中できる環境になるように今後も環境の整備をしていきたい。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○		法令で必要とされる人数を確保している。	基本的に担当支援員に関しては、利用者様のニーズに合った専門的な支援員を配置するようにしている。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○	○	支援室には番号を表示するようにしており、利用者様にとっても分かりやすい環境にしている。また廊下等には物は設置せずに安全を確保するようにしている。	バリアフリーには一部非対応。 →階段には手すりを付けたり、滑り止めを設置している。また階段の上り下りに関しては職員が一名以上配置した上で安全の確保を図っている。（上りはスタッフが後ろ、下りはスタッフが前）		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		療育室は個室となっているため、お子様にとっても安心できる環境を提供している。	退出時間や入室時間が重なるかと狭くなることがあるので、調整をしていきたい。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		利用者様の特性に合わせた環境を設けている。	上記の内容に付随することであるが、退出時間や入室時間帯によって狭くなることがあるので調整を今後していきたい。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○	○	朝礼の際に必ず全員で内容を共有できるようにしている。お休みの人にも確認できるように議事録を作成し、全員に確認できるようにする。	担当制になっているので、個別で対応をすることもあるため、スタッフ全員で共有できるような環境を設けていきたい。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者様から何か意見があった場合は早期に上長と連携を取りながら解決をするようにしている。	状況によって保護者様からなかなか言えない部分があるため、LINE等を活用して気軽に意見を出せるような環境にしていく。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		1on1を実施しているので、普段の声は届いていると感じている。	以前は職員への伝達の仕方が中途半端になっているのではないかとという意見があったため、今回からダブルチェックをするなど行き情報の漏れがないように心がけている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○	○	社内監査を年に1回定期的に行っている。 →是正内容はすぐに職員に共有を行い、対策を講じている。	逆に言えば社内監査ぐらいいかが行っていないのではないかとという意見も見られた。 →近隣の校舎（ブロック内の校舎）で定期的なチェックを行っている。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		義務化された研修は会社内で行われるようになっている。また1ヶ月に何回か法定研修以外にも職員が研修に参加できる任意の勉強会や相談会を行っている。	社外の研修や勉強会にも参加をしているが機会がなかなか少ないように感じる。オンラインなどの研修も通じて質の向上に努めている。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○	○	事業所のHPで公表している。	保護者が認知しているかどうか微妙なところがあるという意見が見られたため、校舎内の掲示板にて公表されている旨を伝えられると良いと考えている。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		支援終了後のフィードバックで聞き取りを行い、作成をしている。	定期的に保護者への聞き取りを行う中で計画に反映できるようにしていきたいと考えている。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		管理者の方には何か小さな変化があった場合にはすぐに報告するような体制を整え、場合によっては保護者様に聞き取りや事業所内相談を設けている。	MT時に情報共有を図っているが、さらに情報の共有ができるような環境を整えていきたい。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		職員がお休みをしたりする場合には必ず今何が行われていたのかの引き継ぎを行い、現在の状況を把握した上で次の支援に繋げている。	基本的に計画に沿った支援を行っているが、状況に合わせて計画の見直しなども行っていきたい。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○	○	会社から出ているアセスメントシートを保護者様に記入をしていただき、現状の把握をしている。	意見の中には「他にも効率的で精度の良いツールがあると良い」という意見が見られた。事業所で使える効率的なものがあれば今後考えていきたい。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○	○	個別支援計画にはその内容を全て記載しており、刈谷校のスタッフに周知している。また分からないことはいつでも質問ができる環境に整えている。	地域支援・地域連携の部分にも具体的な評価が出来るように目標を立てていきたいと考えている。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○	○	難しいケースの場合には指導員が何人か集まって会議を開いて意見を交換する機会を設けている。	「いいえ」の意見として個別支援のため個人で解決しようとする部分が多い。重要な項目に関してはMTで共有をしている。		

適切な支援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		お子様の状況に合わせて固定で行うプログラム+振り返り等を通して固定化しないよう変更を行っている。	保護者様から何かご要望があった場合にはその内容を聞き取り、現在支援の中の様子を伝えたとプログラム調整を行っている。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○	○	集団で行う活動は防災訓練やイベントの時に行っている。	防災訓練やイベント等の参加の機会を増やしながら集団の活動も行っていきたい。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○	○	難しいケース等の支援の際には管理者を交えてプログラムの調整を行い、その後の報告を行うようにしている。	個別の支援や時間などの関係で後日になることもあるので、時間を確保しプログラムや質の向上に努めていきたい。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○	○	支援終了後に打ち合わせが出来ない場合は、翌日引き継ぎ時などで情報共有を行うようにしている。	直接的な共有が出来ていないので支援記録に詳細に残しているが、話し合いの機会も今後増やしていけると良い。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		記録は誰が見ても詳細に内容がわかるように細かく記録や専門的支援実施記録を記載している。	支援の記録はその日あったことだけではなく、今回の支援を受けての課題も記載できると良い。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		半年に1回必ずモニタリングを行い、保護者様の意見や支援員の意見を聞いた上で計画の変更を適宜行っている。	現在半年に1回をベースに行っているが、緊急性が高い場合には半年以内にモニタリングを行いその子にあった計画にしていきたい。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		①自立支援と日常生活の充実のための活動、②創作活動、③地域交流の機会の提供、④余暇の提供の4点であり、総合的に組み合わせた支援を行っている。	日によってこれらが全て網羅されていないことがあるので、1ヶ月の支援の中で全て網羅できるようにしていきたい。
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		指示型の支援ではなく受容型（お子様の意見も反映しプログラムの内容を調整する）の支援で行っている。	今後も左記の形で検討をしていきたい。
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		支援の担当者及び児発管がサービス担当者会議に参加をしている。	担当者が他の業務などで参加できない場合は管理者と打ち合わせの上、会議で伝えるべきことを共有している。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○	○	教育機関などの見学や連携、会議の回数は去年と比べると増えてきている。	教育機関などによっては連携することが難しいことがあるので、少しずつ信頼が得られるように工夫をしていきたい。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		保護者等を通じて行っている。場合にはよっては報告書を印刷して情報の共有を行うようにしている。	今後も重要なことに関しては保護者様を通じて情報の共有を行っていきたい。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○	○	ニーズに合わせて情報共有を行っている。	今後の改善策としては保護者様への聞き取りを始め、以前通っていた児童発達支援への電話での聞き取り等を通じて情報共有を行っていきたい。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○	○	今年度はそのような事例がなかったため行っていない。	今後そのような事例があれば、事業所に情報共有を行い、場合によっては事業所を訪問するようにしたい。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○	○	地域で開かれる研修に参加をする機会は増えている。	スーパーバイズや助言の機会は多くないため、研修の機会を今後も増やしていきたい連携を図っていきたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○	○	きりぎり谷校ではそのような機会を設けていない。	保護者様から今後ご要望があれば積極的に行っていたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○	○	刈谷市で毎回開かれている「こども連絡会」には参加をし、他事業所と情報の共有を行っている。	指導員の参加の機会も増えてきているため、今後も積極的に参加をしていきたい。
保護者への説明等	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○	○	支援が終了した後に行われるフィードバックの時間で情報の共有を行っている。	フィードバックの時間が十分設けられない時には、報告書にて情報の共有を行ったり、後日電話で情報の共有を行うようにしている。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○	○	専門の公認心理師の指導員を中心に何名かにペアレント・トレーニングや事業所内相談を行った。	事業所内相談をしたいという申込は増えてきているため今後保護者様に相談できる機会を設ければと思っている。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時の時に説明、もしくは保護者様から質問を受けたときには適宜対応をしている。	十分説明が出来なかった保護者様向けに玄関でいつでも見られるように工夫を設けたいと考えている。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		支援前にはお子様の様子を各指導員の方から聞くようにしている。支援終了後にはお子様の様子を踏まえた上で報告を行い次回のプログラムの調整に努めている。	より一層保護者様が満足、納得できるような説明を行い信頼に繋げていきたい。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		支援を行う前の月に保護者様に確認をした上で行っている。	今後も継続をしていきたい。

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		フィードバックの時間にも設けているほか、事業所内相談等の提案も行い、機会を増やすようにしている。	今後も継続をしていきたい。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○	きりり刈谷校ではそのような機会を設けていない。	保護者様からご要望が多くあれば設けたいと考えている。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情などがあった場合にはその日のうちに状況をまずは上長に報告をし、早急な解決を目指して動くようにしている。	個別の案件について適切かつ迅速に対応してきた。今後もそのような対応に努めたい。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		HPではブログの内容を2回以上更新している。	HPで更新されたことに対してまだ分からないという部分があったため、今後はLINEのリッチメニューを活用して更新出来たかを行うようにする。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人名を言わなくとも、その子であると特定されるような発言も控えるように徹底している。	今後も個人情報の管理は徹底的に行っていききたい。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		職員間で情報の共有を図るように努めている。	今後も誤った認識が無いように努めたいと考えている。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○	○	地域で行うイベント（例：ほうでいって何？）等のイベントには参加をするようにしている。	今後も機会があれば参加をしていきたい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		マニュアルは必ず策定をし、保護者にも閲覧できるように玄関先に置くなどの工夫を行っている。	以前よりは把握されている保護者様も増えてきているが、まだ不十分なところがあるので徹底を図っていききたい。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		BCPは必ず策定をしており、保護者様にも閲覧できるようにしている。訓練も定期的に行っている。	以前よりは把握されている保護者様も増えてきているが、まだ不十分なところがあるので徹底を図っていききたい。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		服用している薬などがある場合には、その情報を保護者様から事前にお聞きし、必要な対応を行っている。	保護者様からの情報提供を得た上でやっている。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○	○	食物を取り入れていない。	今後イベント等で食物を取り入れる機会があれば取り入れていきたい。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画は作成をしており、訓練及び研修を行っている。	緊急時に備えた備品で一部不十分なものがあるため補充を急ぎたい。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		契約時の際に説明を行っている。	今後も保護者様が安心できるように継続をしていきたい。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		何かあったときにはミーティングにおいて共有を行い、再発防止に向けての対策を講じている。	今後も保護者様が安心できるように継続をしていきたい。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		会社で行われる法定研修に全職員が参加をしている。	契約時に保護者様にも研修を必ず行っているということを伝えている。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		身体拘束については個別支援計画にも必ず記載の上、契約時には保護者が理解しやすいように例を示しながら保護者様に同意を得ている。	保護者様にも身体拘束についての説明に関しては重説に基づいて行っている。